

レアメタル資源再生技術研究会（会長・藤田豊久東京大学大学院工学系研究科教授）は4日、名古屋市熱田区の名古屋市工業研究所で「第9回レアメタル資源再生技術研究会」を開催、関連企業や学校関係者など約130人が参加した。写真。

レアメタル資源の枯渇を防ぐ上で重要であり、環境改善にも寄与する。講演会、交流会を通じて懇親を深め、皆様のビジネス展開にもつなげてほしい」と述べた。

台湾から講師招く

会では産官学6団体の代表が講演。グローバル化をテーマとした今回は、初めて台湾資源再生協会から蔡敏行創会理事長を講師に招いた。蔡氏は台湾における非鉄金属・希少金属のリサイクル状況や足元の課題などを説明した。



## レアメタル再生技術研 講演・交流会に130人

席上、藤田会長は今回のテーマ「資源リサイクルのグローバル化と国際協力」を引き合いに挨拶。「日本の最先端のリサイクル技術を発揮し、東アジア諸国と連携してリサイクルを推進することは、地球上のレアメタル懇親を深めた。

講演会終了後には会場を移して交流会を開催。参加者各自が